

3/29日 (月) フィリピン株式市場

PSEi 6,544.63

前日比 -36.37 (-0.55%)

Key Philippine Indices			
	Close	Ch	% Ch
PSEi	6,544.63	-36.37	-0.55
All Shares	3,967.79	-9.04	-0.23
Financials	1,401.64	-10.55	-0.75
Industrials	8,590.72	+19.67	+0.23
Holdings	6,605.40	-58.34	-0.88
Services	1,435.98	-9.23	-0.64
Mining and Oil	8,633.94	+177.22	+2.10
Property	3,276.96	+3.43	+0.11

市場の概要

PSEi(フィリピン総合指数)は、落ち着いた動きで終了。

市場の解説

地元市場は利益確定のため、3日間の連勝を止めた。

外国人売却高は6週連続で続き、大量取引売りを除くと30億ペソとなりました。

本日のワースト銘柄

- JG Summit HD (JGS) -3.4%
- Ayala Corp. (AC) -2.3%
- Bank Of the Philippine Islands (BPI) -1.8%
- Int'l Container Terminal Services, Inc. (ICT) -1.6%
- SM Investments (SM) -0.41%

全体の下落幅の38ポイントを占めた。

★主要なイベント

- 4月5日 製造業PMI
- 4月6日 インフレ率
- 4月6日 貿易収支

Market Statistics

Value (in PhP M)

Value Turnover	5,169
Net Foreign Transactions	(725)
Advancers	101
Decliners	92
Unchanged	49

市場の見通し

制限強化に伴い、市場の弱さが続く見込み

3月29日～4月4日までの1週間のロックダウン発表を受けて、市場は今週、支持線を試す可能性が高い。

このような状況では、今年の景気回復への期待は薄れてしまう。

6,400のサポートラインを試すことが予想され、このサポートを下抜けた場合、6,200～6,000の安値を試すことになるだろう。

ABキャピタルアナリストより再参入の可能性を考慮して、価格が安定するのを待ち、跳ね返りを期待して傍観することを勧めている。

本日の経済ニュース

ドゥテルテ大統領、インフレ抑制のために豚肉を市場に流す

フィリピンでは、現在54,210トンしかない豚肉を今後350,000トン輸入することが予想されている。

これにより、今後数ヶ月間のインフレ、特にフィリピン人の主食である食料品の価格が緩和されるはずです。

2月1日、ドゥテルテ大統領は、4月8日まで、ピグーは270ペソ/kg、ポークリエンポは350ペソ/kg、ドレスチキンは160ペソ/kgの価格制限を実施した。

2月のインフレ率は4.7%に急上昇した。

本日の銘柄ニュース①

通信会社のインサイダー買い : TEL, DITO

先週、メラルコCEOのレイ・エスピノサ氏がPLDT社(TEL)の株を買っている。(TEL)の株を購入しているが、これは今期8%下落している。

エスピノサは1,248～1,255円の2,000株を積み上げた。

一方、DITOの指南役であるアーネスト・アルベルト氏も、DITOの持ち株を増やすために押し目買いを行っており、120,000株のDITO株をPhP9.95～PhP9.98の価格帯で取得している(3月23日)。

本日の銘柄ニュース②

NOWテレコム、未払い債務で営業停止に

Infrawatch PHは、実業家Mel VelardeのNOW Telecomのライセンスを停止するよう、また金融債務の未払いがある他の通信事業者のライセンスを停止するよう、国家電気通信委員会に求めている。

Infrawatchは、NOWが通信省に対して、2004年から2017年までのSRF(監督・規制料金)とSUF(スペクトラム・ユーザー・フィー)の未払い分である20億ペソを負っていると主張している。

解説

ロックダウンが再発したことで、フィリピン株価は2020年の最低水準まで下落した。

プラス材料がないことで株価が落ち込んでいる中、バーゲン価格で押し目買いをする動きが見られる。

通信大手2社のGLOとTELは、高配当銘柄でもあり、今後の業界成長とともにインカムだけでなくキャピタルも期待できる。

一方、テンバガー株に入っているNOWテレコムは、財務悪化に伴い、業務停止を余儀なくされた。

1年以上続くロックダウンにより、企業の財務悪化に耐えきれなくなった企業も続出してきている。

ロックダウンの状況は、さらに悪化し、3/29～4/4までECQ(強化されたコミュニティ隔離措置)に逆戻りした。

【皆様へ】

デイリーレポートに関して、分からないことや聞きたいことがあれば、気軽にお聞きくださいませ。

会員様限定で現地のプロアナリストを招いて、皆様のためにセミナー解説もしております。

ストックマスターズは、皆様にご参加していただくことで、より良いサービスになっていきますので、皆様からのご質問心よりお待ちしております。